

# 明治維新策源地 山口市



現在の山口県である周防国・長門国は江戸時代、毛利氏の領国となり毛利氏は萩に城を築きました。幕末、藩主・毛利敬親は拠点を山口へ移し、山口御屋形を築城。山口を藩の政治の中心地としました。山口は明治維新を成し遂げた多くの人材や新しい考え方を創出した「明治維新の策源地」。維新ゆかりのスポットは市内各地に数多くあります。

## 旧藩庁門 (山口藩庁跡)

Hanchomon (Gate)



現在、山口県庁がある地は、幕末、藩主が住む御屋形が築かれた地。御屋形は元治元年(1864)10月に竣工しましたが「禁門の変」で藩が朝敵とされたため、幕府からの要求で翌月には破却。藩の内戦を経て藩論が統一された後、再び竣工しました。県庁の一角に残る旧藩庁門は、藩政末期明治3年の築造です。



## 亀山公園 Kameyama Park

明治33年(1900)、亀山の頂上に毛利敬親・元徳(もとりの)父子らの銅像6基が建てられました。現在の敬親像は昭和55年(1980)に再建されたものです。



## 露山堂 (ろざんどう) Rozando

露山堂は毛利敬親が山口に御屋形を築いた際、現在の県庁敷地内にあった小山の麓に設けた茶室。そこで敬親は家臣らと密議をこらしたと伝わります。現在、建物は香山公園に移築されています。



## 香山墓所 Kozan Cemetery

幕末の長州藩主である毛利敬親夫妻、敬親の跡を継いだ元徳夫妻、元徳の長男・元昭夫妻は山口の毛利家墓所「香山墓所」に眠っています。

## 山口市菜香亭

(さいこうてい)

Yamaguchi City Saikotei

「菜香亭」は、斉藤幸兵衛が明治10年(1877)頃、八坂神社境内の一角に開いた山口でも有数の老舗料亭でした。その菜香亭の休業後、平成16年(2004)に現在地に観光文化交流施設「山口市菜香亭」として移築復元され、以来多くの方々に利用されています。百畳もある大広間には伊藤博文や木戸孝允らの書が展示されています。



## 枕流亭 (ちんりゅうてい)

Chinryutei

枕流亭は、一の坂川の安部橋近くにあった旧家・安部家の離れ。西郷隆盛、大久保利通、木戸孝允(きどたかよ)らが薩長連合の密議を行なった場所と伝わっています。現在、建物は香山公園に移築されています。



## 周布政之助(すふ まさのすけ) の碑

Masanosuke Sufu Monument

幕末、藩の重臣として藩政をリードした周布政之助。禁門の変、四国艦隊下関砲撃事件の後、山口で自刃。自刃の場所近くに碑が建てられ、後にその一帯は「周布町」と名付けられました。



## 木戸(きど)神社

Kidojinja (Shrine)

周布政之助の没後、藩の内戦を経て、藩政をけん引したのが木戸孝允でした。孝允は当時の糸米村に屋敷を構え、亡くなる前、その邸宅と山林を村民の学資として寄付。人々は感謝し、木戸神社を建立しました。



## 十朋亭(じっぽうてい)

Jippotei



山口の有力な町人だった萬代家(ばんだいか)の離れ。幕末に藩士たちの宿泊所として用いられ、久坂玄瑞(くさかげんずい)や木戸孝允、高杉晋作ら、多くの志士が入り出しました。玄瑞愛用の湯呑など萬代家伝来の品々が山口市に寄贈されています。また、明治維新を学べる場として施設整備を進めています。



## 湯田温泉

Yudaonsen (Hot Springs)

維新の志士も入浴した湯田温泉。無料の足湯が各所にあるほか、旧藩士で明治時代、大臣を歴任した井上馨の生家跡・井上公園もあります。井上公園には、幕末、京都から逃れた七卿のうちの一人三条実美が起居した「何遠亭(かえんてい)」をイメージした休憩所も整備されています。



## 萩往還(はぎおうかん)

Hagi Okan

萩往還は、江戸時代、瀬戸内海に面した三田尻(みたじり)港(防府)と城下町萩を結んだ街道。一里塚や石畳など当時の風情が残ります。萩往還語り部ガイドの案内でウォーキングを体験することもできます。



## 大村神社 Omurajinja (Shrine)

幕末、藩の軍事改革の総責任者となり、四境戦争(第2次幕長戦争)を勝利に導いた大村益次郎は当時の鑄銭司村の出身。長沢池のほとりに益次郎を祀る神社があり、その北に墓所があります。



## 奇兵隊・膺懲隊(ようちやうたい) 屯所跡

Yochotai Tanshoato (Remains)

元治元年(1864)10月、奇兵隊・膺懲隊は三田尻から徳地へ転営。本陣となった正慶院の他7つの寺が屯所となりました。

# 彩都山口ア・ラ・カルト

山口は室町時代、西国一の栄華を誇った大内氏が拠点としたまち。  
歴史と自然に恵まれた山口には、四季折々に彩り豊かな魅力があります。



## 大内氏栄華“西の京”の面影を求めて



洞春寺観音堂 (とうしゅんじかんのんどう)  
Toshunji Kannon Temple

かつて大内持盛が永享2年(1430)に建立した観音寺の本堂で、大正時代に洞春寺境内に移築されました。国の重要文化財に指定されています。



大内氏館跡 龍福寺 (りゅうふくじ)  
Ryufukuj Temple and the Site of Ouchi Clan Hall  
「龍福寺」はかつて大内氏館があった地。現在、枯山水庭園や池泉庭園が復元され、境内にある資料館では、金箔土師器皿などの出土品を観覧できます。



常栄寺 (じょうえいじ) 庭園  
雪舟庭 (せっしゅうてい)

Sesshutei Garden, Joeiji Temple  
室町時代、大内氏が画僧雪舟に築かせたと伝わる庭園。国の史跡及び名勝に指定されています。



平成大内御膳  
Heisei Ouchi Gozen

大内義興が前將軍・足利義植をもてなした料理を再現した「平成大内御膳」。湯田温泉のホテル・旅館で楽しめます。

山口サビエル記念聖堂  
Yamaguchi Xavier Memorial Church

室町時代に来日したサビエルは山口を訪れ、大内義隆から日本で初めての本格的な布教を許されました。現在の聖堂は平成10年(1998)に完成したものです。



## 国宝 瑠璃光寺五重塔

(こくほう るりこうじごじゅうのとう)  
Rurikoji Temple's Five-Storied Pagoda

室町時代、足利義満と戦って亡くなった大内義弘の供養塔として建立され、室町時代を代表する美しい塔として国宝に指定されています。



一の坂川 ホタル

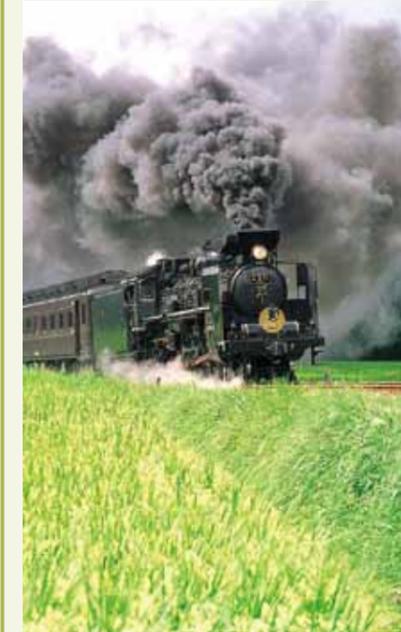
Ichinosakagawa River, Genji fireflies  
市内中心部を流れる一の坂川は、ホタルの名所。5月下旬から6月上旬にかけて国の天然記念物ゲンジボタルの乱舞を楽しめます。



長門峡 (ちようもんきょう)  
Chomonkyo (Valley)

奇岩や淵が続く美しい渓谷で国の名勝にも指定されています。遊歩道が整備されており、新緑から紅葉、雪景色まで四季折々に楽しめます。

## ノスタルジックな旅を求めて



SL「やまぐち」号 Steam Locomotive Train Yamaguchi

JR山口線から蒸気機関車が姿を消した後、熱心な運動が実り、昭和54年(1979)にSL「やまぐち」号が復活。沿線でさまざまな鉄道文化遺産に出会えます。

## 祭り歳時記



山口祇園祭  
[7月20日~27日]  
Yamaguchi Gionsai

室町時代、大内氏が京都から勧請した八坂神社の祭礼です。県の無形民俗文化財「鷲の舞」の奉納や御神幸が行われます。



山口七夕ちょうちんまつり  
[8月6日・7日]  
Yamaguchi Tanabata Lantern Festival

室町時代に、大内盛見が先祖の冥福を祈るために始めたといわれ、笹竹に吊るした無数のちょうちんがまちを赤く染めます。

## 12月、山口市はクリスマス市になる。

[12月1日~31日]  
Yamaguchi turns into X-mas City each December

天文21年(1552)、山口でクリスマスミサが行われ、日本で初めてクリスマスが祝われたことにちなみ、市内各地でさまざまなイベントが行われます。



## Event Calendar

- 2月 ・高倉荒神祭  
・阿知須ひなもんまつり
- 3月 ・山口お宝展
- 4月 ・湯田温泉白狐まつり  
・大原湖さくらロードレース大会  
・秋穂八十八ヶ所お大師まいり
- 5月 ・青空天国いこいの広場  
・阿知須浦まつり 十七夜祭・花火大会
- 6月 ・ほたる観賞week!
- 7月 ・山口祇園祭  
・ふしの夏まつり
- 8月 ・山口七夕ちょうちんまつり  
・えび狩り世界選手権大会
- 9月 ・山口ゆめき回廊
- 10月 ・湯田温泉酒まつり  
・アートふる山口
- 11月 ・長門峡もみじまつり  
・山口スペインフィエスタ  
・山口天神祭
- 12月 ・12月、山口市はクリスマス市になる。

# 山口自慢の特産品

山口市には、時代を越えて受け継がれてきた技、挑戦を重ねて新たに生み出された新しいものなど、わがまち自慢のさまざまな特産品があります。

他にもたくさんある山口自慢の特産品。どうぞもっともって出会って、楽しんでください。



## 大内塗

国指定伝統的工芸品

Ouchinuri

室町時代、山口を拠点とした西国一の大名・大内氏が京都から漆塗りの職人を山口に呼び寄せたのが始まりです。後に復興されて大内塗と呼ばれるようになり、大内朱を地塗りに用い、大内氏の家紋をモチーフにした大内菱を金箔であしらって、秋草文様を描くのが伝統的な絵柄です。



## 徳地和紙

Tokuji Washi

中世からの歴史を持つ徳地和紙。紙づくりは江戸時代、「防長四白」の一つとして奨励され、藩内各地で行われました。中でも最も盛んだった地の一つが徳地地域で、現在も紙づくりは受け継がれ、「重源の郷」で紙すき体験をすることもできます。また最近では、和紙本来の質感とデザインとが融合した新たな商品開発も進められています。



## ういろう 外郎

Uirou

米粉を使う他県の外郎と異なり、山口の外郎はワラビ粉などを用い、小豆あんなどを混ぜて作ります。ぷるんとした口当たりと上品な味が好まれています。



## 山口萩焼

Yamaguchi Hagiyaki

ざんぐりとした土味。使うにつれてお茶が浸み込み、色艶が変化していく「萩の七化け」。萩焼は17世紀初頭に始まり、その風合いが特に茶人に愛されてきました。山口萩焼は明治時代、萩から山口に移ってきた大和作太郎翁が松緑窯を開窯し始めました。



## 車えび

Kuruma Ebi

古くから車えびの好漁場である秋穂地域は、塩田跡地を利用した養殖発祥の地としても有名です。活き車えび料理も秋穂自慢の名物料理です。



「くるまえば養殖発祥の地」の碑 ▶  
えびのフルコースも人気 ▼



くりまさるを使った色々なスイーツも人気

## 阿知須くりまさる

Ajisu Kurimasaru

阿知須地域で手間をかけて育てられ、厳しい検査を合格したものだけを「阿知須くりまさる」として出荷。甘く、ホクホクした食感が評判です。



## 徳佐りんご Tokusa Ringo

阿東地域は西日本で最大規模のリンゴの産地。おいしさと品質が評判で、多くの品種が栽培され、時季によって異なる品種を楽しめます。



## かんぶつ kanbutsu

Kanbutsu

「kanbutsu」とは、産官学の連携で生まれた、山口市産の農産物・水産物を地元乾燥機メーカーの優れた技術で乾燥させた新しいタイプの乾燥食品です。阿東地域のスイカや梨、仁保地域の桃やらっきょうを使ったドライチップなど、さまざまなkanbutsuが誕生しています。

## カワラケツメイ茶 Kawaraketumei Cha

徳地地域では、休耕田を活用して栽培したカワラケツメイを主原料とした「カワラケツメイ茶」を開発。健康茶として注目されています。



あとう和牛



阿知須牛



徳地和牛

## 山口の和牛 Yamaguchi Beef

「あとう和牛」、「阿知須牛」、「徳地和牛」は、いずれも和牛本来のうま味と甘みが人気です。

ふるさと山口市を  
応援して  
ください



### 【ふるさとやまぐち寄附金(ふるさと納税制度)】

山口市では、ふるさと納税制度による全国の皆様からの寄附を募集しています。ふるさと納税とは、自分が生まれ育った、関わりが深い地域を応援したいという気持ちを形にする仕組みとして、地方公共団体(都道府県や市町村)に対して寄附を行った

場合、2,000円を超える部分について、個人住民税や所得税からの一定の限度まで全額控除される制度です。ご協力いただいた方(5,000円以上)には、お礼として、山口市の特産品を送っています。あなたの応援、お待ちしております。

▶ くわしくは 山口市企画経営課 ☎083-934-2746 または 彩都山口 検索 <http://sight-yamaguchi.jp/donation/>